

JFA 第27回全日本フットサル選手権 神奈川県大会 要項(抜粋)

- 1 名称 JFA 第27回全日本フットサル選手権 神奈川県大会
- 2 主催 一般社団法人神奈川県サッカー協会、横須賀サッカー協会
- 3 主管 一般社団法人神奈川県サッカー協会フットサル部会・神奈川県フットサル連盟
- 4 協賛 株式会社ウインスポーツ、株式会社ENフットサルショップRODA
ZUCC FUTSAL BASE 大井、エスタジオ横浜、ミズノフットサルプラザ藤沢、フロンタウンさぎぬま
- 5 期日 2021年10月16日(土)、11月3日(水・祝)、11月13日(土)、11月21日(日)
- 6 会場 神奈川県立スポーツセンターアリーナ1(10/16、11/3)、ひらつかサン・ライフアリーナ(11/13)星槎レイクアリーナ箱根(11/21)
- 7 参加資格
 - (1) ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に「フットサル1種」または「フットサル2種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。
 - ② 本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル1種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を移籍手続きなしに参加させることができる。なお、本項の適用対象となる選手の年齢は、「フットサル2種」のみとし、「フットサル1種」年代の選手は適用対象外となる。
 - ③ 第1項、または、第2項のチームに所属する2006年4月1日以前に生まれた選手であること。
男女の性別は問わない。
 - (2) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。
 - (3) 選手および役員は、本神奈川県大会において複数のチームで参加できない。
 - (4) チーム登録選手は、7名以上20名以下、役員は1名(監督)以上6名以下とする。
 - (5) 外国籍選手は、1チームに3名までの登録を認める。
 - (6) チームの活動拠点が神奈川県にあること。(神奈川県在住、在学、在勤者が7割以上いること。)
 - (7) 参加チームは傷害保険(スポーツ安全保険等)に加入していること。
 - (8) 引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる20歳以上の者であること。
- 8 参加チームとその数
 - (1) 参加チームは39チームとする。
- 9 競技形式
 - (1) 39チームによるノックアウト方式(トーナメント戦)で行う。なお、3位決定戦を行わない。
- 10 競技会規定

大会実施年度の日本協会フットサル競技規則に則る。

但し、以下の項目については、本大会の規定を定める。

 - (1) ピッチサイズ:原則として、40m×20m
 - (2) ボール:日本協会検定球を使用する。[試合球の準備は、一般社団法人神奈川県サッカー協会(以下、「県協会」とする。)フットサル部会が行う。]
 - (3) 競技者の数

- ① 交代要員の数:9名以内
- ② ベンチに入ることができる人数:14名以内(交代要員9名以内、役員5名以内)
通訳が必要な場合は15名以内(役員6名以内)とする。
- ③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内

(4) 競技者の用具

① ユニフォーム:

- ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。
 - イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - ウ) フィールドプレーヤーとして登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。なお、ケガや退場処分等の突発的なやむを得ない状況で、交代要員のゴールキーパーが不在又は準備が整っていない場合に限り、主審の判断によりゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォームで代用することができる。
 - エ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判断が容易なサイズのものでなければならない。
 - オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ※ 番号の書体と色は番号が識別しやすいものを使用すること。
(書体参考:http://kanagawa-futsal-fed.org/Uniform_NO.pdf)
- カ) ユニフォームの色、選手番号およびデザインについて、エントリー受付以降の変更は認めない。
 - キ) タイツの使用を認めない。
 - ク) ユニフォームの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - ケ) その他、ユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。
 - コ) ゴールキーパーの用具について、今大会に限り新ルールは適用しない。

- ② 靴:キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズまたは体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

- ③ ビブス:交代要員は、競技者と異なる色(2色)のビブスを選手人数分用意し、着用しなければならない。

(5) 試合時間

① 1回戦~3回戦

24分間(前後半各12分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。

② 4回戦、5回戦(ベスト8)

30分間(前後半各15分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。

② 準決勝、決勝戦

40分間(前後半各20分間)のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間とする。

(6) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)

- ① 1回戦~4回戦:決着がつかない場合はフェアプレーコンテストを採用。それでも決着がつかない場合は抽選で勝者を決する。

※本来はPK戦を予定していましたが、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響により会場使用時間が制限されているため

今大会においてはフェアプレーコンテストを採用いたしますことご理解ください。

- ② 準々決勝(ベスト8):PK方式(3人制)を採用。以降最大5名までをサドンデスとし、
決着がつかない場合はフェアプレーコンテストを採用。それでも決着がつかない場合は抽選で勝者を決する。
メンバー表にあらかじめPKを蹴る選手5名(順番を確定しておく)+不測の事態に備えた1名の計6名を記入する。
PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ③ 準決勝:大会実施年度の日本協会フットサル競技規則に則り、PK方式(5人制)により勝敗を決定する。
PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。
- ④ 決勝戦:10分間(前後半各5分間)の延長戦を行い、決しない場合は大会実施年度の日本協会フットサル競技規則に則り、
PK方式(5人制)により勝敗を決定する。
延長戦に入る前のインターバルは5分間とし、PK方式に入る前のインターバルは1分間とする。

(7) チーム役員ベンチ入りについては、フットサル連盟発行の登録役員証(写真が登録されたもの)を作成し身に着けること。

※登録役員証が確認できない場合は、ベンチ入りできない。

(8) 試合登録においてチーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム

役員・選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。

この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。

(9) 競技開始前(審判によるエキップメントチェック)に不在な者は、ベンチ入りを認めない。

(役員・コーチ等)も同様とする。

11 懲罰

(1) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(2) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については

日本協会「懲罰規定」に則り、その処置を県協会フットサル部会規律フェアプレー委員長が決定する。

(3) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。

関東大会出場となる場合は、関東大会にて消化する。但し、警告の累積によるものを除く。

14 登録変更

JFA WEB登録システムKICK OFFの大会エントリー受付以降の内容変更は一切認めない。

16 選手証・登録役員証

(1) 各チームの登録役員は、県フットサル連盟発行の登録役員証(写真が登録されたもの)を試合会場に持参すること。

※登録が確認できない場合は、ベンチ入りできない。

(2) 各チームの登録選手は、日本協会発行の電子選手証の写し、

またはKICKOFFより大会参加申し込みの【登録選手一覧】2021を試合会場に持参すること。

※選手証とは、日本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧表を印刷したもの、

(試合前日又は当日出力したもの)又は、タブレット端末(※スマートフォンは不可)の画面に表示したものを示す。

17 表彰

(1) 優勝チーム・準優勝・第3位のチームには、賞状を授与する。

(2) 上位4チームの中から、今大会最もフェアなプレーをしたチームには、県協会よりフェアプレー賞を授与する。

20 関東大会出場権:

(1) 本大会の優勝チームは、関東大会出場の権利と義務を有する。 出場枠「1」

(2) 期日:2022年1月22日(土)、23日(日)、30日(日)

(3) 場所:埼玉県(ウイングハット春日部)

21 審判及びオフィシャル

- (1) 審判については、県協会審判部会より派遣する。
- (2) ボールパーソンおよび担架、試合記録については、割当て表に従い参加各チームで行う。
- (3) 準決勝及び決勝戦の試合記録については、神奈川県フットサルリーグ運営委員会が行う。

22 その他

- (1) 大会要項違反、その他不都合な行為があった場合は、県協会フットサル部会フェアプレー規律委員会に諮り、その選手またはチームの処分を決定する。
- (2) 今大会においてはマッチコーディネーションミーティングは行わない。
ユニフォームの決定方法及びメンバーシートの提出に関しては神奈川県リーグの手順に準ずる。
- (3) 傷病手当については、救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置をすること
- (4) 本大会の試合に関するテレビ・動画・写真の権利は全て県協会フットサル部会に帰属する。
また、肖像権等の使用は、前記フットサル部会の承認を必要とする。なお、試合等を撮影する場合、試合当日、大会本部で申請・許可を受けること。
※観戦者の撮影は禁止とする。参加チーム関係者の撮影は、1チーム動画1台を限度にスタンドにて行える。
- (5) その他、ウイルス感染症対策や会場利用については、
別途運営要項及び新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに定め、参加チームはそれを順守する事とする。
ガイドライン：<http://kanagawa-futsal-fed.org/covid19guideline.pdf>
- (6) 試合映像配信について
・試合会場となる施設の許可が得られた場合のみ配信する。